

## 令和5年度 修繕仕様書・設計内訳書

工事名称 大久保市民センター屋上防水全面改修修繕

工事場所 明石市大久保町大窪 612-1

工期 契約の翌日から、令和6年2月28日まで

技術者等 現場代理人：他工事との「兼務可」  
主任又は監理技術者：「非専任」

1. 設計コード ー

2. 修繕内容

- ・屋上防水全面改修

3. 支払条件

- ・完成後、一括支払い

4. 特記事項

- ①関係法令等を遵守し、必要な手続きを遅滞なく行うこと。また、これらに要する費用は、受注者負担とする。
- ②省エネ、省資源、廃棄物の減量、リサイクルの推進等により、環境負荷の低減を図ること。
- ③「産業廃棄物の不適正な処理の防止に関する条例」の対象となる建設廃棄物の産業廃棄物処理業者への引渡しが完了したときは、同条例第16条の3に基づき、建設資材廃棄物引渡完了報告を監督職員に提出すること。
- ④引渡しまでに要する試験運転及び各試験等の費用は、受注者負担とする。
- ⑤原則、日曜日、祝日及び夜間は、作業を行わないこと。  
工事では原則として、土曜日の施設内での作業を行わないこと。
- ⑥万一、事故や苦情が発生した場合には、速やかに対応するとともに、対応内容を記録し、監督職員に報告すること。
- ⑦営繕課発行の「契約書・仕様書に基づく提出書類（工事編）」に基づき、必要書類を提出すること。
- ⑧敷地内及び敷地周辺は、全面禁煙とする。
- ⑨工事着工前に敷地内外（敷地内の既存建物、近接建物、道路等の構造物など）の撮影を行い、工事完成時に原状復旧が行われているか確認すること。
- ⑩工事期間中は、必要に応じて交通誘導員を増員すること。
- ⑪工程、仮設計画等の作成及び工事施工に当たっては、関係部局と十分に事前打合せを行い、施設の運営に支障が生じないように配慮すること。
- ⑫公共建築（改修）工事標準仕様書（各工事編）に基づく「書面」は、署名又は押印されたもののほか、印字による記名も含むものとする。

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
修繕費				
仮設	1	式		
防水改修	1	式		
太陽光発電装置移設復旧	1	式		
計				
諸経費				
諸経費	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		



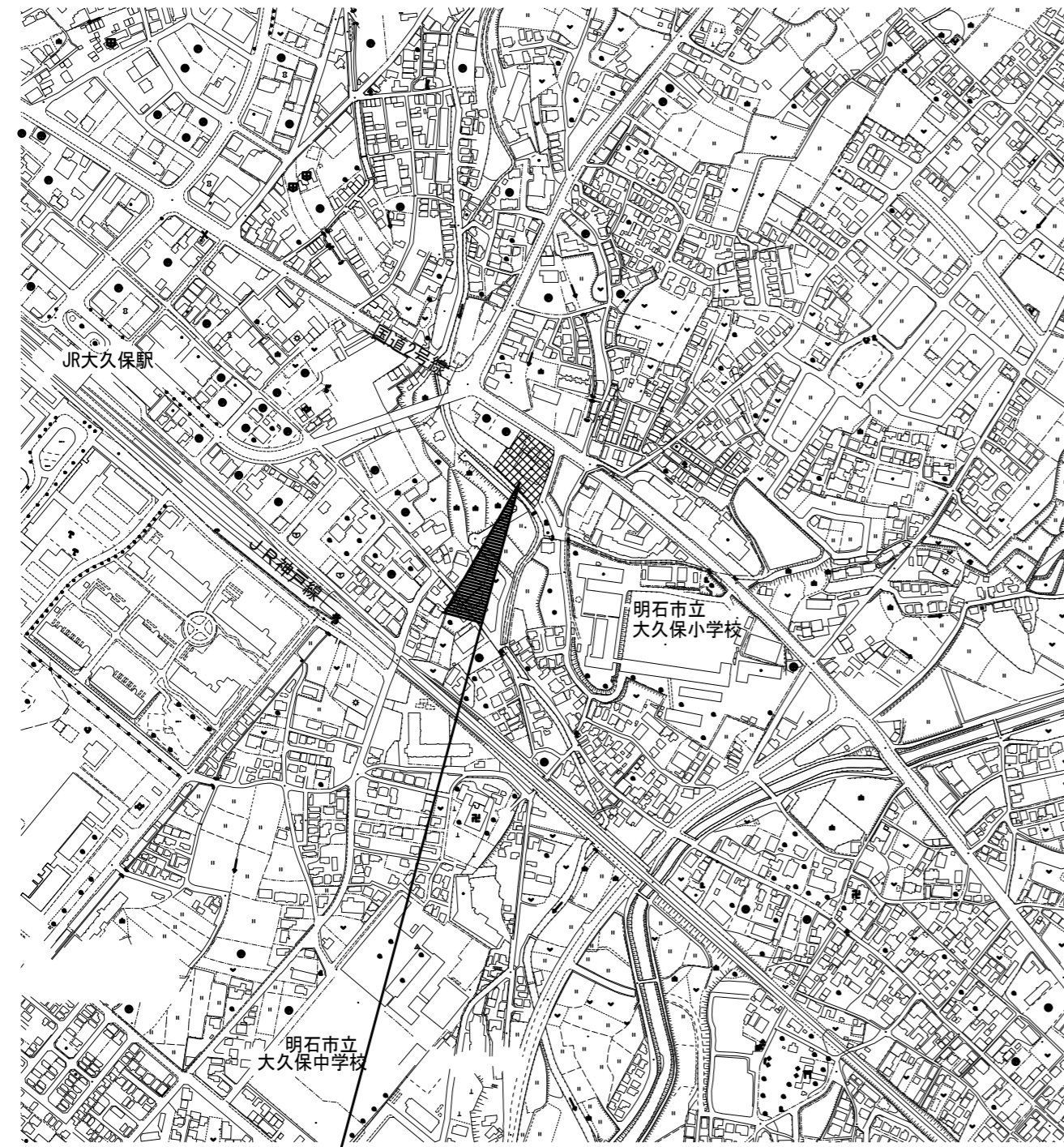
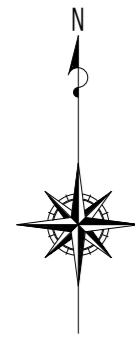
防水改修修繕		防水改修				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
合成高分子系 ルーフィングシート防水 (材工共)	S-M2 機械固定工法 ALC版下地 塩化ビニル樹脂 表面塗装なし - シール材共 脱気筒共	364	m <sup>2</sup>			
合成高分子系 ルーフィングシート防水 (材工共)	S-M2 機械固定工法 塩化ビニル樹脂 表面塗装なし - シール材共 脱気筒共	158	m <sup>2</sup>			
合成高分子系 ルーフィングシート防水 (材工共)	S-F2 接着工法 塩化ビニル樹脂 表面塗装なし - シール材共	78	m <sup>2</sup>			
太陽光発電モジュール 固定部品	連結タイプADC同等品	1	式			
塩ビ鋼板	W50程度	178	m			
防水押え金物	アルミ製 シート防水用	178	m			
改修用ドレン	縦引き用	2	か所			
改修用ドレン	横引き用	6	か所			
アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	アンカーピン 16本/m <sup>2</sup>	9	m <sup>2</sup>			
既設防水端部押え 金物撤去	シーリング共	178	m			
既設合成高分子系 ルーフィングシート防水撤 去	立上り	78	m <sup>2</sup>			
既設脱気筒撤 去		1	式			
防水保証標識	アクリル板200×150×t3.0エッチング文字	1	式			
水洗い	高圧ポンプ 10～15MPa程度	601	m <sup>2</sup>			
下地調整 立上り	C-1 カチオン系	78	m <sup>2</sup>			
下地調整 平場	CM-2 カチオン系	30	m <sup>2</sup>			
塗膜防水 階段踏面	X-2 密着工法 ウレタンゴム系 平面 ノンスリップ仕上げ	1.4	m <sup>2</sup>			
塗膜防水 設備基礎・架台他	X-2 密着工法 ウレタンゴム系 平面 表面塗装	15.5	m <sup>2</sup>			
塗膜防水 設備基礎・架台他	X-2 密着工法 ウレタンゴム系 立上り 表面塗装	14.4	m <sup>2</sup>			
塗膜防水 パレット・アゴ	X-2 密着工法 ウレタンゴム系 平面 表面塗装	27.2	m <sup>2</sup>			



防水改修修繕		太陽光発電装置移設復旧				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
EM-CEケーブル	5.5mm2- 2C	13	m			
EM-CEケーブル	3.5mm2- 2C	13	m			
新設電線	EM-CEE-S 2.0sq-2C	13	m			
厚鋼電線管(G)	(42)	18.3	m			
厚鋼電線管(G)	(28)	18.3	m			
厚鋼電線管(G)	(22)	73.2	m			
丸形露出ボックス	25(E25, 22) 3方出ほか	52	個			
同上付属品		1	式			
同上支持材		1	式			
端子盤	SUS POS 4340-20	1	面			
雑材消耗品費		1	式			
太陽光発電パネル取外し仮置き施工費	50.3㎡ (パネル1000×1290、架台鋼製 H=300 39枚) 配線配管共 電工8人程度	1	式			
太陽光発電パネル復旧組立施工費	50.3㎡ (パネル1000×1290、架台鋼製 H=300 39枚) 配線配管共 電工16人程度	1	式			
システム撤去時試験工	電工1人	1	式			
システム復旧時試験工	電工1人	1	式			
計						

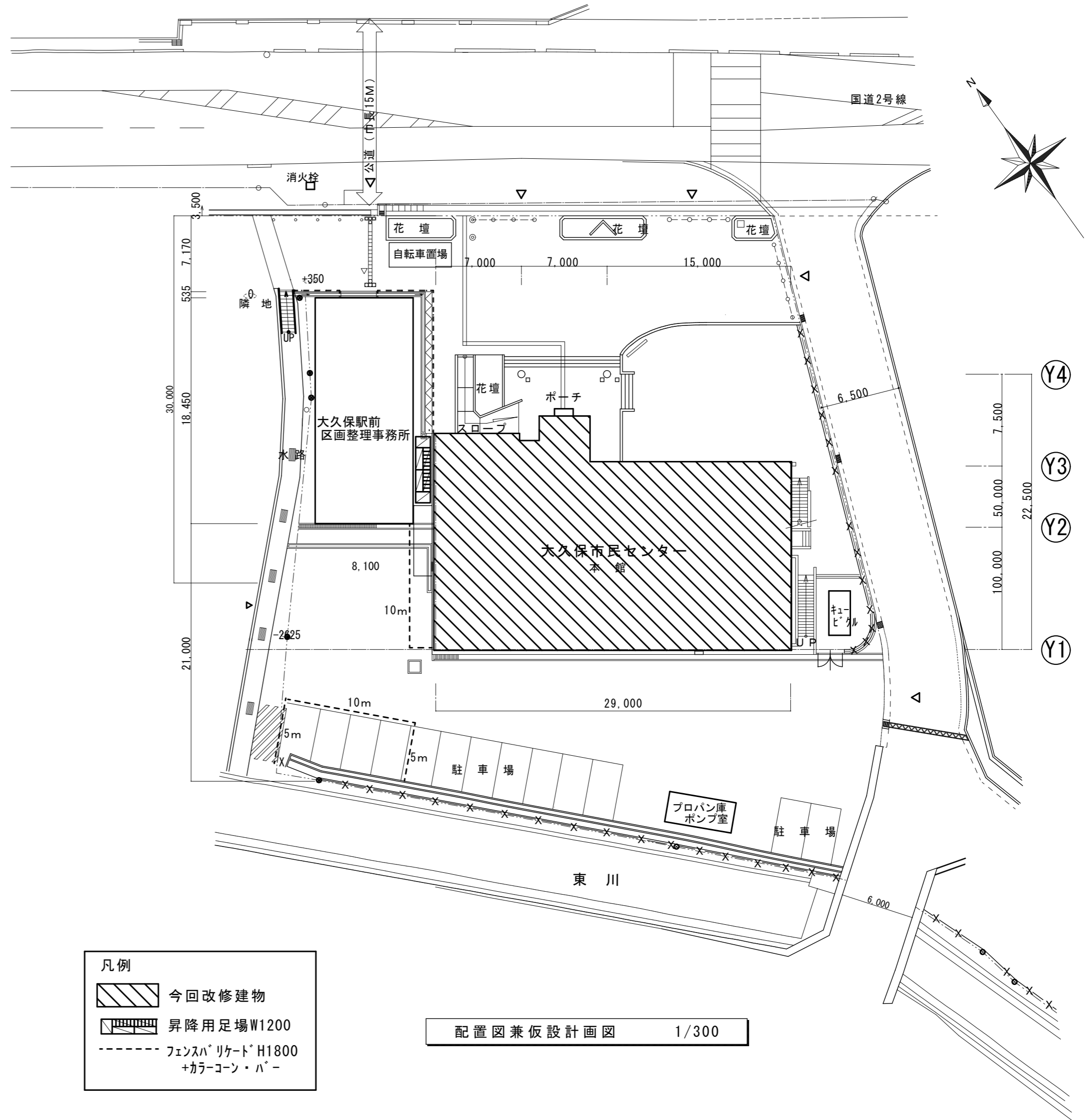
改修工事特記仕様書		7 発生材の処理等		2 仮設工事		1 足場その他		3 合成高分子系ルーフィングシート防水		材料の種類																																																																																				
<p>I 工事概要</p> <p>1. 工事場所 明石市大久保町大窪 612-1</p> <p>2. 敷地面積 —</p> <p>3. 工事種目 改修工事</p> <p>4. 工事内容 屋上防水改修工事</p> <p>II 建築改修工事仕様</p> <p>1. 共通仕様</p> <p>本図面及び特記仕様に記載のない事項は、全て国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下「改修標仕」という)による。</p> <p>ただし、改修標仕に規定されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年度版」(以下「標仕」という)による。</p> <p>2. 特記仕様</p> <p>(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。</p> <p>(2) 特記事項は、●印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ●印と※印の付いた場合は、共に適用する。</p> <p>(3) 特記事項に記載の [ . . . ] の表示番号は、改修標仕の該当項目又は当該表を示す。</p> <p>(4) 特記事項に記載の &lt; . . . &gt; の表示番号は、標仕の該当項目又は当該表を示す。</p> <p>(5) 使用材料は、再生材・F☆☆☆☆・低VOC材料を選択すること(各項共通事項)</p>		<p>8 建築材料等</p> <p>※ 本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、これと同等のものとする事ができる。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>また、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料評価名簿(最新版)」から材料を選定した場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認を得ること。</p> <p>※ 改修標仕及び標仕に記載のない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。</p> <p>9 特別な材料の工法</p> <p>10 施工数量調査</p> <p>調査範囲及び調査方法 ※ 図示 [1.6.2] 調査により既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※ 図示 [1.6.3]</p> <p>13 完成図等</p> <p>※ 完成図 [1.9.1~1.9.3][表1.9.1] 完成図作成に当たっては、CADデータ修正によること。 完成図の種類及び記入内容は、設計図同等とする。 完成図には、各図面の右下に「完成図」と明記すること。</p> <p>提出物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>二つ折り製本2部(表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、設計者名、受注者名」を記入の上、「完成図」と明記)</li> <li>※ JWW形式CADデータ</li> <li>※ PDF形式データ(印刷物をスキャンしたもの不可)</li> <li>※ 保全に関する資料 ・ 1部 ※ 2部</li> </ul> <p>14 施工図等の取扱い</p> <p>※ 施工図等の著作権に関する当該建築物に係る著作権は、発注者に委譲する。</p> <p>施工図の様式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>二つ折り製本1部(表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、受注者名」を記入の上、「施工図」と明記)</li> <li>● A3程度で軽微なものは、監督職員の承諾により完成図書に綴じ込み可とする。</li> </ul> <p>15 工事写真</p> <p>工事写真の撮影対象 ※ 監督職員と協議 ・ 図示 [1.2.4] デジタルカメラ撮影も可(解像度ほか、監督員と協議) 記録紙 ※ マット紙 ・ その他( ) ※ 出来形確認用の完成写真は、工事写真として撮影すること。 下記の完成写真と混同しないこと。 下記のを監督職員に提出する。</p> <table border="1"> <tr> <th>分類・規格</th> <th>撮影箇所数</th> <th>提出部数</th> <th>原板の大きさ(mm)</th> </tr> <tr> <td>● カラー</td> <td>外観 ( ) 面</td> <td rowspan="2">※ 1</td> <td rowspan="2">※ 24×36</td> </tr> <tr> <td>・ハフ切り版</td> <td>内観 各 ( ) 面</td> </tr> <tr> <td>・キャビネ版</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>16 完成写真</p> <p>撮影業者 ・ 建築完成写真撮影の実績のある業者 ● 建築完成写真撮影の実績は問わない 装丁 ・ 写真用装飾アルバム(白表紙、金文字) ● 市販アルバム</p> <p>17 設備工事との取り合い</p> <p>※ 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受けること。</p> <p>※ 要(延べ 人)</p> <p>※ 資格等の要件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通誘導員A(1、2級交通誘導警備検定合格者)</li> <li>● 交通誘導員B(警備業者の警備員で、上記以外の交通誘導に従事する者)</li> </ul>		分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ(mm)	● カラー	外観 ( ) 面	※ 1	※ 24×36	・ハフ切り版	内観 各 ( ) 面	・キャビネ版				<p>2 仮設工事</p> <p>2 仮設工事</p> <p>3 防水改修工事</p> <p>1 防水改修工事の種類及工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>工法の種類及び新規防水層の種類</th> <th>施工場所</th> </tr> <tr> <td>・アスファルト防水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・改質アスファルトシート防水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>● 合成高分子系ルーフィングシート防水</td> <td>S4S 塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート</td> <td>平場(S-M2) 立上り(S-F2)</td> </tr> <tr> <td>● 塗膜防水</td> <td>L4X ウレタンゴム系塗膜防水</td> <td>ハ'ラ'ットほか(X-2)</td> </tr> </table> <p>2 仮設工事</p> <p>2 仮設工事</p> <p>2 ② 既存防水層等の処理</p> <p>改修ドレン ● 設ける [3.2.5] 既存下地の補修及び処置 [3.2.6] 高圧洗浄 ● 要 ・ 不要 ・ 全面補修 ( m<sup>2</sup>) ・ 部分補修 (30m<sup>2</sup>(水溜り部)) 下地補修の種類 (● C-2 CM-2 ・ その他 C-1 (SF-2部))</p> <p>※ 下地調整材は、防水材料製造所の指定するものを使用すること。 ひび割れ部の処置 ● 要 ・ 不要 欠損部・浮き部・ぜい弱部の処置 ● 要 ・ 不要</p> <p>既存露出防水層表面の仕上げ塗装 ※ 除去する [3.2.6] (M4AS、M4AS1、M4C、M4D1、L4X工法の場合)</p> <p>既存保護層の補修及び処置 高圧洗浄 (● 要 ・ 不要) 全面補修 (● 要 ・ 不要) (● C-2 ・ CM-2 ) (※下地調整材は、防水材料製造所の指定するものとする。) ひび割れ部の処置 (● 要 ・ 不要) 欠損部・浮き部・ぜい弱部の処置 (● 要 ・ 不要) 架台廻り等の処置 (※) 監督員と協議により決定 ● 図示</p>		種類	工法の種類及び新規防水層の種類	施工場所	・アスファルト防水			・改質アスファルトシート防水			● 合成高分子系ルーフィングシート防水	S4S 塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート	平場(S-M2) 立上り(S-F2)	● 塗膜防水	L4X ウレタンゴム系塗膜防水	ハ'ラ'ットほか(X-2)	<p>4 塗膜防水</p> <p>5 脱気装置(各種防水共通)</p> <p>6 防水保証(各種防水共通)</p> <p>7 防水保証施工標識</p> <p>8 シーリング</p> <p>9 アルミニウム笠木</p> <p>材料の種類 [3.5.2] (● 加硫ゴム系 ・ 非加硫ゴム系 ● 塩化ビニル樹脂系) (高友射付)</p> <p>材料の厚み (● 1.2mm ● 1.5mm ● 2.0mm)</p> <p>絶縁シートの種類、厚み等 (※ 発泡ポリエチレンシート1.5mm以上 ・ 不織布2.0mm以上)</p> <p>断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ・ 25 ・ その他 ( ) [3.5.3] 材料 屋根保護防水</p> <p>※ 機械的固定工法の場合は、A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温版2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に適合するもの又はA種押出し法ポリイソシアネート保温材の保温版とする。接着工法の場合は、A種ポリイソシアネート保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するものとする。</p> <p>防水押え金物 ● 要 ・ 不要 防水押え金物の材質 ● アルミニウム製 ・ その他 ( ) 仕上げ塗料等 (● カラー (材料 ) ・ シルバー ) [3.5.4] 使用分類 (● 歩行用 ・ 非歩行用 ) 機械的固定工法の場合 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 適用する (引張試験含む) [3.5.4]</p> <p>保護層の適用 ・ 適用する ・ 適用しない [3.6.3] (P1Y、P2Y工法の場合) ※ 設ける (場所: 屋上平場) [3.3.3][3.4.3][3.5.3][3.6.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>設置数量</th> </tr> <tr> <td>● 平面部脱気装置</td> <td>● ポリエチレン樹脂・ABS樹脂・ステンレス 鋼鉄</td> <td>● 50~100㎡当たり1箇所 主材製造所の指定による ・ 計 ( ) 箇所</td> </tr> <tr> <td>・ 立上り部脱気装置</td> <td>・ 合成ゴム ・ 塩化ビニル樹脂 ・ ステンレス ・ 銅</td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 工事完了引き渡し日より10年間とする。</p> <p>※ アクリル板 (t=3.0mm ・ ステンレス止 200×150、エッチング文字書き込み) (工事名・工事年度・受注者・施工業者・メーカー・防水種別・工法名・商品名・保証年数を記入)</p> <p>※ 取付場所は監督員の指示による(各棟)</p> <p>シーリング改修工法の種類 [3.1.4][表3.1.2] ● シーリング充てん工法 ・ シーリング再充てん工法 ・ 拡幅シーリング再充てん工法 ・ ブリッジ工法</p> <p>シーリング材の種類、施工箇所 [3.7.2] ※ 下表以外は、改修標仕表3.7.1を標準とする</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類(記号)</th> </tr> <tr> <td>打ち継ぎ・建具廻り</td> <td>・ PU-2 (仕上あり)</td> </tr> <tr> <td>金物新設部</td> <td>● MS-2 (仕上なし)</td> </tr> <tr> <td>ガラス押え</td> <td>※ SR-1</td> </tr> </table> <p>シーリング材の試験 (● 要 ● 不要) [3.7.8] 接着試験方法 ・ 簡易接着試験 ・ JIS A1439による引張接着性試験 [3.9.2][3.9.3][表3.9.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>板厚(mm)</th> <th>固定間隔</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ 250形</td> <td>1.6以上</td> <td rowspan="3">固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの</td> <td rowspan="3">隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>・ 300形</td> <td>1.8以上</td> </tr> <tr> <td>・ 350形</td> <td>2.0以上</td> </tr> <tr> <td>・ 200形</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>既設笠木の撤去等 ・ 撤去処分 ( m ) ・ 撤去再利用 ( m ) 撤去跡補修 ● 要 ・ 不要 補修方法 ※ 高圧洗浄の上CM-2にて補修する。</p>		種類	材質	設置数量	● 平面部脱気装置	● ポリエチレン樹脂・ABS樹脂・ステンレス 鋼鉄	● 50~100㎡当たり1箇所 主材製造所の指定による ・ 計 ( ) 箇所	・ 立上り部脱気装置	・ 合成ゴム ・ 塩化ビニル樹脂 ・ ステンレス ・ 銅		施工箇所	シーリング材の種類(記号)	打ち継ぎ・建具廻り	・ PU-2 (仕上あり)	金物新設部	● MS-2 (仕上なし)	ガラス押え	※ SR-1	種類	板厚(mm)	固定間隔	備考	・ 250形	1.6以上	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による	・ 300形	1.8以上	・ 350形	2.0以上	・ 200形				<p>建築工事メーカーリスト</p> <p>使用材料及び施工については本メーカーリストの中より選択することを原則とし、記載がないものについては監督職員の承諾を得るものとする。 (参考: 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修・社団法人「公共建築協会」発行 建築材料等評価名簿)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">名称・品名</th> <th colspan="2">会社名</th> </tr> <tr> <th>合成高分子ルーフィング</th> <th>塗膜防水</th> </tr> <tr> <td>加硫ゴム系ルーフィングシート</td> <td>・ ミツ星ベルト(株) ・ シバタ工業(株) ・ 田島ルーフィング(株) ・ 日新工業 ・ ニッタイ化工品(株) ・ アサヒゴム(株)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート</td> <td>・ アーキヤマテ(株) ・ ロンシール工業(株) ・ 田島ルーフィング(株) ・ 日新工業 ・ 早川ゴム(株)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウレタンゴム系</td> <td>・ 保土谷建材(株) ・ ニッタイ化工品(株) ・ ミツ星ベルト(株) ・ AGCポリマー建材(株)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ゴムアスファルト系</td> <td>・ 成瀬化学工業 ・ 日新工業(株) ・ 田島ルーフィング(株) ・ 東亜工業(株) ・ 株式会社ウォータイト</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケイ酸質系及びポリマーセメント系・EVA系</td> <td>・ 大関化学工業(株) ・ 昭和電工建材(株) ・ 大日化成(株) ・ ユニオン建材工業(株)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シーリング</td> <td>・ コニシ(株) ・ セメダイン(株) ・ サンスター技研(株) ・ 日本シーカ(株) ・ 横浜ゴム(株)</td> <td></td> </tr> </table>		名称・品名	会社名		合成高分子ルーフィング	塗膜防水	加硫ゴム系ルーフィングシート	・ ミツ星ベルト(株) ・ シバタ工業(株) ・ 田島ルーフィング(株) ・ 日新工業 ・ ニッタイ化工品(株) ・ アサヒゴム(株)		塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート	・ アーキヤマテ(株) ・ ロンシール工業(株) ・ 田島ルーフィング(株) ・ 日新工業 ・ 早川ゴム(株)		ウレタンゴム系	・ 保土谷建材(株) ・ ニッタイ化工品(株) ・ ミツ星ベルト(株) ・ AGCポリマー建材(株)		ゴムアスファルト系	・ 成瀬化学工業 ・ 日新工業(株) ・ 田島ルーフィング(株) ・ 東亜工業(株) ・ 株式会社ウォータイト		ケイ酸質系及びポリマーセメント系・EVA系	・ 大関化学工業(株) ・ 昭和電工建材(株) ・ 大日化成(株) ・ ユニオン建材工業(株)		シーリング	・ コニシ(株) ・ セメダイン(株) ・ サンスター技研(株) ・ 日本シーカ(株) ・ 横浜ゴム(株)	
分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ(mm)																																																																																											
● カラー	外観 ( ) 面	※ 1	※ 24×36																																																																																											
・ハフ切り版	内観 各 ( ) 面																																																																																													
・キャビネ版																																																																																														
種類	工法の種類及び新規防水層の種類	施工場所																																																																																												
・アスファルト防水																																																																																														
・改質アスファルトシート防水																																																																																														
● 合成高分子系ルーフィングシート防水	S4S 塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート	平場(S-M2) 立上り(S-F2)																																																																																												
● 塗膜防水	L4X ウレタンゴム系塗膜防水	ハ'ラ'ットほか(X-2)																																																																																												
種類	材質	設置数量																																																																																												
● 平面部脱気装置	● ポリエチレン樹脂・ABS樹脂・ステンレス 鋼鉄	● 50~100㎡当たり1箇所 主材製造所の指定による ・ 計 ( ) 箇所																																																																																												
・ 立上り部脱気装置	・ 合成ゴム ・ 塩化ビニル樹脂 ・ ステンレス ・ 銅																																																																																													
施工箇所	シーリング材の種類(記号)																																																																																													
打ち継ぎ・建具廻り	・ PU-2 (仕上あり)																																																																																													
金物新設部	● MS-2 (仕上なし)																																																																																													
ガラス押え	※ SR-1																																																																																													
種類	板厚(mm)	固定間隔	備考																																																																																											
・ 250形	1.6以上	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による																																																																																											
・ 300形	1.8以上																																																																																													
・ 350形	2.0以上																																																																																													
・ 200形																																																																																														
名称・品名	会社名																																																																																													
	合成高分子ルーフィング	塗膜防水																																																																																												
加硫ゴム系ルーフィングシート	・ ミツ星ベルト(株) ・ シバタ工業(株) ・ 田島ルーフィング(株) ・ 日新工業 ・ ニッタイ化工品(株) ・ アサヒゴム(株)																																																																																													
塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート	・ アーキヤマテ(株) ・ ロンシール工業(株) ・ 田島ルーフィング(株) ・ 日新工業 ・ 早川ゴム(株)																																																																																													
ウレタンゴム系	・ 保土谷建材(株) ・ ニッタイ化工品(株) ・ ミツ星ベルト(株) ・ AGCポリマー建材(株)																																																																																													
ゴムアスファルト系	・ 成瀬化学工業 ・ 日新工業(株) ・ 田島ルーフィング(株) ・ 東亜工業(株) ・ 株式会社ウォータイト																																																																																													
ケイ酸質系及びポリマーセメント系・EVA系	・ 大関化学工業(株) ・ 昭和電工建材(株) ・ 大日化成(株) ・ ユニオン建材工業(株)																																																																																													
シーリング	・ コニシ(株) ・ セメダイン(株) ・ サンスター技研(株) ・ 日本シーカ(株) ・ 横浜ゴム(株)																																																																																													
<p>特記事項 ※ 建築基準法に基づく風圧力に対する計算を行い、耐力判定を算定し、割付施工図の提出・承認後、施工のこと。</p> <p>※ プラゲ・ビスの引抜試験の実施及び報告書の提出をすること。</p> <p>※ 屋根下地部分の浮き等の調査を行い、必要な箇所を協議の上脱着防止の補修を行うこと。(アンカー部分に樹脂注入工法)</p> <p>※ 上記施工数量調査は、調査結果報告書(改修前)と施工報告書(改修後)を提出し、各報告書には全ての改修箇所の写真を添付すること。</p>		課長	担当課長	係長	担当	製作年月日	工事名称	内																																																																																						
		明石市都市局住宅・建築室営繕課				2023年11月	大久保市民センター屋上防水改修	1																																																																																						
							図面名称	縮尺	全業																																																																																					
							改修工事特記仕様書	-	4																																																																																					
							建築工事メーカーリスト																																																																																							





今回工事場所  
大久保市民センター  
(明石市大久保町大窪612-1)

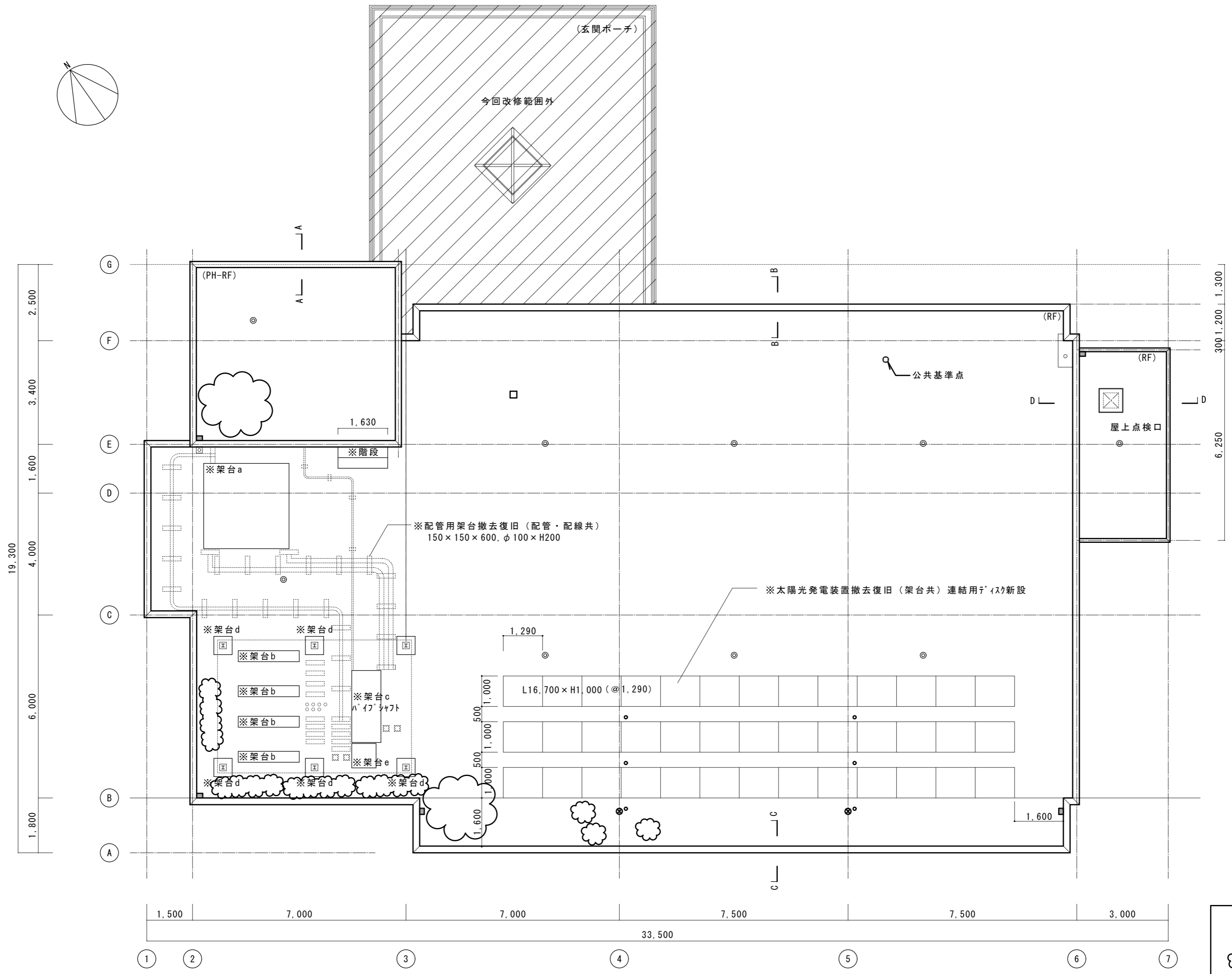
付近見取り図 1/5000



- 凡例
- 今回改修建物
  - 昇降用足場W1200
  - フェンスハリケードH1800  
+ ガーコン・ハ-

配置図兼仮設計計画図 1/300

特記事項	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日	工事名称	内
					2023年11月	大久保市民センター屋上防水改修	2
	明石市都市局住宅・建築室営繕課				図面名称	縮尺	全業
					付近見取り図・配置図兼仮設計計画図	1/5,000、1/300	4



凡例
水溜り部

屋根伏図 1/100

特記事項 施工に当たっては、公共基準点に破損や位置のずれ等が生じないように注意すること。 太陽光発電装置については、既存配線の解体復旧および配線復旧後の試験調整をメタウォーター㈱(西日本営業部:大阪市北区堂島二丁目1番29号Tel.06-6451-5847)へ発注すること。	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日	工事名称	内
	明石市都市局住宅・建築室営繕課				2023年11月	大久保市民センター屋上防水改修	3
						図面名称	全業
						屋根伏図	4
						縮尺	
						1/100	

